

各 位

| | |
|---------|--------------------|
| 上場会社名 | 株式会社SJI |
| 代表者 | 代表取締役社長 李 堅 |
| (コード番号) | 2315) |
| 問合せ先責任者 | 執行役員 経営企画本部長 大槻 二郎 |
| (TEL) | 03-5769-8200) |

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想(A) | 3,601 | 297 | 259 | 188 |
| 今回発表予想(B) | 2,798 | △26 | △16 | △256 |
| 増減額(B-A) | △802 | △323 | △275 | △444 |
| 増減率(%) | △22.3 | — | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期) | 921 | 589 | 522 | 411 |

修正の理由

昨年のいわゆるリーマンショックを契機とした世界同時不況は、今期に入ってさらに深刻化の様相を見せ、かつて経験したことのない程の短期間での急速な国内市場の冷え込みは、当社の業績にも非常に大きな影響を与えております。

IT業界を取り巻く環境は、最近になって一部に下げ止まり感が出てきてはいるものの、依然として受注環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、固定費の削減と効率的運営体制の再構築を図るべく本年4月に国内事業子会社2社を合併し、更に7月にはその2社を当社に合併して、新生SJIとして効率的運営体制の構築を行いました。また並行して、役員報酬の削減、新規採用の抑制、雇用調整の実施、その他諸経費の削減等、鋭意固定費の削減を図って参りましたが、業績予想の修正が必要なことが明らかになりましたので、個別業績予想の修正をおこなうものであります。

売上高については、当社は第2四半期より純粋持株会社から事業持株会社へ移行いたしましたが、第2四半期の事業売上は、主要取引先の金融・製造業IT投資の抑制が予想以上に抑制されたことにより、3,601百万円の計画に対し2,798百万円と計画比802百万円の未達となりました。

営業利益及び経常利益については、当社顧客の予算削減傾向及び価格に対する下方圧力強化による売上減少に対応して、社内稼働率を高めることにより、外注費の削減を図ったものの、それぞれ323百万円及び275百万円の減少となりました。

当社グループ内の再編に伴い、連結子会社をグループ会社へ資本移動したことにより、関係会社出資金売却益104百万円を特別利益に計上し、また連結子会社株式会社SJIを平成21年7月1日付で吸収合併したことにより発生した抱合せ株式消滅差損235百万を特別損失に計上いたしました。

四半期純利益につきましては、受注環境の悪化により繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩すこととし、法人税等調整額に72百万円を計上した結果、188百万円の計画に対し、△256百万円となりました。

なお、今後の世界的な不況の動向やIT投資の減少の長期化が当社業績に与える具体的な影響につきましては、見通し難しい部分もございますが、平成22年3月期通期の業績予想及び連結業績予想につきましては現在精査中であり、変更がある場合は、適時、適切に開示してまいります。

※上記の差異の内容につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

以 上